

# KGA NEWS

2006春号  
2006年6月1日発行

No.91



KGA NEWS No.91

2006春号 2006年6月1日発行

## CONTENTS

### ■第58回通常総会

平成18年度は7つの方策の展開 ..... 2

■特別インタビュー／吉田友明理事長に聞く  
常務理事会と委員長会議を軸に

都・県の自主的運営を促進 ..... 4

### ■平成18年度第11回ジュニアゴルフ大会

盛況！エントリーは1週間で満杯 ..... 6

### ■平成18年度KGA春季ジュニア・ゴルフスクール

7会場に661名のジュニアが参加 ..... 9

### ■特別対談／インタビュー 高橋KGA広報委員長

1都10県の加盟俱楽部の活動状況を聞く——第4回 長野県

ジュニア育成は長野県の最重要課題 ..... 13

### 2006-2007年度版ゴルフ規則裁定集より

距離計測器の使用を認めるローカルルールについて ..... 20

新規加盟俱楽部紹介 ..... 22

総会・理事会・分科委員会 ..... 22

月例競技成績表・お知らせ ..... 32



### 平成18年度 関東ゴルフ連盟主催競技日程表（関東シニア選手権以降）

平成18年5月8日現在

競技名	予選・決勝	開催日	開催俱楽部	申込受付開始日	申込締切日	JGAHcp制限
関東シニア選手権	第1ブロック	7月13日(木)	穂高カントリークラブ(長野県)	5/12(金)	6/12(月)	~13.9
	第2ブロック	7月14日(金)	メイプルボインクトルフクラブ(山梨県)			
	第3ブロック	7月10日(月)	茨城ゴルフ俱楽部・西(茨城県)			
	第4ブロック	7月14日(金)	スプリングフィールズゴルフクラブ(茨城県)			
	第5ブロック	7月12日(水)	富里ゴルフ俱楽部(千葉県)			
	決勝	10月2日(月)～10月3日(火)	戸塚カントリー俱楽部・東(神奈川県)			
関東ジュニア選手権	15～17歳男子	7月24日(月) 7月24日(月)	日高カントリークラブ・東・西(埼玉県) 茨城ゴルフ俱楽部・西(茨城県)	6/14(水)	7/24(月)	~28.4
	12～14歳男子	7月24日(月) 7月18日(火)	程ヶ谷カントリー俱楽部(神奈川県) 紫カントリークラブ・みずれ(千葉県)			
	15～17歳女子	7月24日(月)	鎌ヶ谷カントリークラブ・東・中・西(千葉県)			
	12～14歳女子	7月24日(月)	藤ヶ谷カントリークラブ(千葉県)			
	決勝	8月2日(水)～8月3日(木)	千葉カントリークラブ・梅郷(千葉県)			
	第1ブロック	8月31日(木)	下仁田カントリークラブ(群馬県)	6/28(水)	7/28(金)	~9.9
関東ミッドアマチュア選手権	第2ブロック	8月30日(水)	ファイエイトゴルフクラブ(栃木県)			
	第3ブロック	8月26日(月)	日高カントリークラブ・東・西(埼玉県)			
	第4ブロック	8月29日(火)	浜野ゴルフクラブ(千葉県)			
	第5ブロック	8月29日(火)	富士小山ゴルフクラブ(静岡県)			
	決勝	9月25日(月)～9月26日(火)	飯能ゴルフクラブ(埼玉県)			
	第1ブロック	9月4日(月)	霞ヶ関カントリー俱楽部・東(埼玉県)			
関東女子ミッドアマチュア選手権	第2ブロック	9月4日(月)	鶴舞カントリー俱楽部・東(千葉県)	7/4(火)	8/4(金)	~17.9
	決勝	10月16日(月)～10月17日(火)	アスレチックゴルフ俱楽部(茨城県)			
	第1ブロック	9月12日(火)	甘楽カントリークラブ(群馬県)		9/4(月)	
関東ミッドシニア選手権	第2ブロック	9月11日(月)	ゴルフ楽部成田ハイツ(千葉県)	7/11(火)	8/11(金)	~14.9
	決勝	10月10日(火)～10月11日(水)	龍ヶ崎カントリー俱楽部(茨城県)			
	決勝	11月6日(月)	大利根カントリークラブ・東(茨城県)	未定	未定	未定

※日程は変更になる場合があります。

# 平成18年度は 7つの方策の展開

役員・分科委員の活性化と加盟倶楽部による連携強化

所信表明・吉田友明理事長

写真／塚越克一・増田 收(KGA広報委員)



第58回通常総会（ホテルニューオータニ）

第58回総会は、平成18年2月21日（火）、午前10時より、ホテルニューオータニ（東京都千代田区紀尾井町）において開催された。出席倶楽部は正会員501倶楽部中、委任状を含め380倶楽部であった。

吉田理事長が議長を務め、以下の上程議案の審議を行ない、承認、可決された。

◆第1号議案：平成17年事業報告並びに一般会計・特別会計収支決算書の承認の件

◆第2号議案：平成18年度事業予定並びに一般会計・特別会計収支予算（案）の承認の件

◆第3号議案：「関東ゴルフ連盟」規約改正（案）の承認の件

◆報告事項：（財）日本ゴルフ協会「平成17年度事業報告及び決算報告」並びに「平成18年度事業計画及び予算」に関する件  
なお、審議に先立ち吉田理事長はつぎのよう

に所信を表明した。

本日は、お忙しい所、第58回通常総会にご出席いただき有難う御座いました。それでは、開催にあたり、関東ゴルフ連盟の活動の結果と方針について述べたいと存じます。

世間一般では、景気の回復が話題となっておりますが、ゴルフ界としても、ようやく明るさが見えてきたとの見方も御座います。



挨拶をする吉田理事長と小宮山（左）、竹田（右）の両副理事長



関係者を集めたパーティー風景

しかしながら、2000年4月の民事再生法施行以来約6年、本年度は法的整理のペースが幾分下火になるかと思いますが、ゴルフ場全体としては、まだまだ予断を許せない中にあり、現実は依然として厳しい状況であるというのが、実感ではないかと存じます。全国の入場者数も平成16年が8,531万で前年比311万人の減と、年々減少しております。

このような低迷のゴルフ界にあって、興味あるデータがあります。それは、シニア層が大いに気を吐いて、ゴルフ界の活性化のけん引役を担っていることです。このシニア層の入場者数は、平成16年が525万人で前年比114万人増と、急増していることです。

来年には団塊の世代の670万人が定年を迎えますので、更にこの傾向は拡大をして行くことが予測されます。

さて、このような状況の下で、平成17年度の関東ゴルフ連盟の活動を振り返りますと、加盟倶楽部、コースレート査定の増加、J-sys普及とシステムの変更に伴うカードの処理料の増加を示すと共に、各競技も順調に推移し、特に女子ミッドアマ、男子ミッドアマ、同シニアの各競技の参加者が増えております。

但し、アンダーハンディキャップ競技のように前年を割る競技も見られますので今後の課題も御座いました。

しかしながら、連盟収支は、一般会計・特別会計とも予算を上回る結果を確保する事ができ、全体と致しましては成果の得られた年度となりました。

ご尽力を賜りました各位に対しまして、心から敬意を表すると共に、今後とも一層のご協力ををお願いいたします次第で御座います。

次に、平成18年度の方針で御座いますが、改めて、関東ゴルフ連盟の目的を確認して、つぎの方策を展開してまいりたいと考えております。

1. 連盟内部の各機能強化と活性化
2. 主催競技の充実した運営の展開
3. 倶楽部対抗競技の制度改善と充実
4. アンダーハンディキャップ選手権競技の活性化
5. JGAハンディキャップ制度の普及とカード処理料の改善
6. ジュニアゴルファー育成制度の改善・強化
7. 未加盟倶楽部の加盟促進

以上の7つの方策を役員・分科委員の方々と充分な話し合いをしながら確実に展開し、加盟倶楽部の親睦による連携強化と健全なゴルフの普及・発展を計るという当連盟の使命を果たしてまいります。

改めまして、皆様のご協力とご支援を心よりお願いを申し上げる次第で御座います。

特別  
インタビュー

# 常務理事会と委員長会議を軸に 都・県の自主的運営を促進

吉田友明理事長聞く  
インタビュー／塩田 正(KGA広報委員)



吉田友明理事長

新年度にあたり、吉田理事長が所信表明の中で示された18年度の方針をもとに、関東ゴルフ連盟として、これから活動を具体的にどう展開していくのか、この辺を中心に吉田理事長に聞いてみた。

## 【増えてきた競技志向のゴルファー】

—景気回復とか、団塊の世代の定年退職問題とか、社会の状況も少しづつ変化してきているように思います。こうした社会の変化にしたがってゴルフ界も少しづつ変わっているように思います。吉田理事長としては、その辺をどうお考えでしょうか。

吉田 ゴルフに対していろいろな考えが出てきていると思いますが、アマチュアゴルフの方では、競技志向をもつゴルファーが増えているように思います。そのいい例が俱楽部対抗でのチーム数の増加であり、関東女子や関東アマの競技エンター人員の増加などです。ゴルフが好きでたまらないという人の行き着く先が、競技への参加という図式ではないでしょうか。もちろん、ゴルフを楽しむプレーヤーも多いの

で、これからは競技志向と楽しむプレーヤーとの二極化が進んでいくのではないかと思います。

—そういう意味では、ゴルフの健全化がいっそう推進していくということですね。

吉田 われわれアマチュア団体としては、健全化は大いに歓迎すべきことでしょうね。

—こうした背景をもつゴルフ界に対して、KGAとしては、どう対応していったらいいのでしょうか。

吉田 考えてみると、昔と現代とでは時代が変わってきます。1人だけがリーダーシップをとって走るというわけにはいかなくなってくるのではないかと思います。各委員会の連絡を密にしていかないといけませんね。

—具体的にいうと……。

吉田 ことしは常務理事会と、委員長会議を多くやりますよ。これを続けていくうちにいろいろな問題が集約されてくると思います。KGAとしては、みなさんと一致団結して和やかな雰囲気でやっていきたいと思います。

—ことしの関東俱楽部対抗から、出場選手の

数など少し変わっていますが、常務理事会と委員長会議の活性化の現われですか。

吉田 そうです。都・県での戦いは、関東俱楽部対抗のための予選のみではないのではないかという発想です。都や県の俱楽部のみなさんの親善マッチという考え方でやって頂くことを常務理事会、委員長会議などの連係で検討してきたわけです。ですから県によっては従来3名(A・B組とも)のところを、出場俱楽部が増えて1会場が2会場に分割され、1会場あたりの出場チームが減ったことから4名ずつ選手を出し、上位3名のスコアを採用するというところも出てきています。もちろん、3名ずつ、あるいは4名(A組)、3名(B組)という選手構成も考えられるわけです。まあ、そういうことで親睦を図って頂いて、決勝での選手構成は従来どおりと……。

—これなども上からの号令ではなくて……。

## 【団塊の世代とジュニア育成】

吉田 そうです。都・県のみなさんの自主性におまかせしたわけです。アンダーハンディキャップ選手権もそうです。各常務理事がそれぞれの都・県に帰って、より盛り上げるはどうしたらよいか、話し合いで決めてもらうようにしたのです。

例えば、「うちの県では、県単位で予選をやるのは無理です」ということになれば、県単位でなくとも、隣の県と地区単位にして予選をやればいいというふうに、自主的に決めてもらうようにしたのです。そして4月の常務理事会に中間報告をしてもらっています。

—ことしは団塊の世代の人たちが定年退職を迎える年でもあります。そんな人たちが新制度の中で、どんどんアンダーハンディキャップ選手権に参加されるといいですね。

吉田 アンダーハンディキャップ選手権は、こういう人たちのよい目標になるのではないでしょうか。先ほどもいったように競技志向の人た

ちが増えてきている。この選手権がそのきっかけを作ってくれればいいと思います。

—「関東」と名の付く大きな選手権に出て、それがプレーヤー自身にも大きな自信になって返ってくればいいですね。

吉田 なると思いますね。選手権の舞台となるコースも著名なところが多いですから、張り合いが出ると思いますよ。

—ジュニアの動向はどうですか。

吉田 大鷫ジュニア育成委員長が、しっかりやってくれています。最近ジュニアが増えていているのは小学生層だといわれています。

—なぜ小学生が多いのでしょうか。

吉田 これは推測の域を出ませんが、いま一番テレビのゴルフ番組を見ているのは、50歳から60歳代の人たちだそうです。ジュニアといえば、そういう人たちのお孫さんに当たるわけです。藍ちゃん効果じゃありませんが「うちの孫にもゴルフをやらせて……」というおじいちゃんが結構多く、そこでおじいちゃんが「クラブを買ってやる」ということになるんじゃないですか(笑)。4月初めにジュニアの親子スクールがあったんですが両親に混じって、おじいちゃんが付いてくる方が、かなり目立っていたそうです。

しかし、ジュニアも中学生になると減ってしまうという現象があります。小学生の子供をしっかり教育して層を増やしていくのが大事なのではないでしょうか。そうすれば少子化の波も乗り越えられると思います。

—ではこの辺で。長時間、いろいろなお話を有難うございました。



ジュニアの教育が大切……。



平成18年度第11回ジュニアゴルフ大会

# 盛況! エントリーは1週間で満杯

—春爛漫の若洲ゴルフリンクスに集う119名のジュニアたち—

文／西澤 忠(KGA広報委員) 写真／舟橋一芳・増田 收(KGA広報委員)



「ゴルフで大切なことは他人に迷惑をかけないことです」。タオルを掲げて説明する大鷲ジュニア育成委員長

## ●手慣れた動きは大人顔負け

“東京都心から30分で行けるゴルフ場”若洲ゴルフリンクスは東京湾に浮かぶ埋立地に造られただけに平坦な地形ながら、適度なアンジュレーションのあるフェアウェイ、1,000平方㍍近い大きなベント・グリーンが特徴で、ひとたび風でも吹けば難コースに変貌することでも知られている。

ここに、小学生ゴルファー119名（当日欠席者4名）を集めて、今年度のジュニアゴルフ大会が3月28日（火）に開かれた。この日、気象庁が東京都心の桜が満開になったと発表、曇り後晴れの天候はまさに春爛漫の陽気で、心配された風も微風だった。

朝8時ジャスト・スタートの前から、クラブハウス前の練習グリーン、練習場は参加選手と

その父母であふれた。そう、選手一人に同伴の父母一人がラウンドに付き添い、プレーのスピード調整、マーカーを務めるので、26名の運営のジュニア育成委員とスコアラーを入れると、コース上の人数は倍近くになるのだ。

「父母が随行するといっても、キャディは出来ない。選手とは5メートルの間隔を保つなど、選手の自主性を重んじることが大切。スコアより、正しいゴルフ・プレーの面白さを覚えてもらうことが目的です」とスタート前に嶋田憲人ジュニア副委員長が各組に、丁寧に説明する姿があった。

昨年までは夏休みを利用して開催されていたが、猛暑の若洲リンクスは木陰も少なく、選手に酷だと理由で春休み時季に今年から移された。そのお陰か、参加申し込み数も急増して、「エントリー申し込みが1週間で満杯になりました



ピンを持つ小さな同伴競技者

た。希望者でエントリーできなかった人は100名近かったと思います」(KGA事務局安間さん)という程の盛況ぶりだったとか。

それにしても、高学年組（小学4～6年生）はプレーし慣れた動作でティーアップし、キン！という金属音を響かせてドライバーを打つと、バッグを肩に担ぎ、目土袋を手に速足で歩き出す。その手馴れた様子は大人のゴルファー顔負け。しかも、男子ならば平均220㍍は飛んでいる。低学年（小学1～3年生）はというと、クラブに7本制限のあるせいか、バッグを担いで足早に歩き出す。心配そうな顔で遠くから見つめるのは父母の方だった。

## ●エチケットを学び、スムーズなプレーを

高学年が先のスタートで18ホール、低学年は後のスタートで9ホールというペアリングで、朝9時台に出た低学年組のプレーが終わり、ハウス前で午後2時には全員集合して大鷲俊朗ジュニア育成委員長から閉会の挨拶を聞いた。そして、このスピーチがユニーク。

「私は“タオルおじさん”と呼ばれてます。



「スコアよりも正しいゴルフ」説明する嶋田副委員長



ジュニア用の特設ティーからのショット

洗面台を使ったゴルファーがやるべきことはなんだと思いますか？」とタオルを手に高く上げて話しかける。「それは後から来る人のために自分が使った洗面台をきれいに拭いておくことです。ゴルフでいちばん大切なことは他人に不愉快な思いをさせない、迷惑をかけない、他人に思いやりを持つ精神を養うことだからです」

集まった低学年ジュニアがおとなしく話を聞いている姿が印象的だった。

高学年の24組すべてのプレーが終わったのは午後3時12分。30分の休憩があったからプレー時間は5時間あまりで無事終了したことになる。なんともスムーズなプレーである。

「過去10回も開催しているとジュニア委員も慣ってきて、スムーズに進行できるようになりました。それには、“ジュニア選手権”ではなく、“ジュニアゴルフ大会”と称しているように、スコアよりゴルフの普及、ルール・マナーの勉強会であることを強調してきたからでしょう。

世界ジュニアに出場する選手でもマナーが悪ければゴルファー失格です。小学生からゴルフのマナー・エチケットを学び、スムーズなプレー

**男子優勝 須賀京介くん**（写真下中央）  
大網白里町立季美の森小6年 69  
**2位タイ 浅地洋佑くん**（写真下右）  
杉並区立高井戸小6年 72  
**2位タイ 滝 雅志くん**（写真下左）  
水戸市立双葉台小6年 72



バンカーならしも丁寧に

ーを心がける習慣が身につければうれしい。それがわれわれ大人の役割だと思います」（大鷲ジュニア育成委員長）

スコアよりもマナーだが、一応成績は発表される。男子の部トップは須賀京介君（大網白里町立季美の森小6年）の69、女子の部は渡辺彩香さん（熱海市立第二小6年）の78だった。須賀君は164才、60才。ドライバーが250~260ヤードは飛ぶと言うし、渡辺さんも165才の長身で、17番パー5でイーグルの「3」を記録した。

この日の全長ヤーデージは5,128ヤード・パー72だったが、このヤーデージにするには特設ティーをフェアウェイかラフに設定するしかない。すると、ティー内の地面がどちらかに傾くことになり、選手には打ち難そうだったのが気がかり。今後、ジュニア育成に力を入れるゴルフ場

**女子優勝 渡辺彩香さん**（写真下中央）  
熱海市立第二小6年 78  
**2位タイ 押尾紗樹さん**（写真下右）  
富士見市立鶴瀬小6年 84  
**2位タイ 川島愛理さん**（写真下左）  
太田市立強戸小6年 84



ディボット跡には目砂を忘れない



手引カートを手に足どりも軽く

にお願いしたいのはジュニア用のティーインググラウンドの整備だと思った。

昔から、「人生に必要な知恵は、すべて子供時代の砂場で教わった」と言われるが、今後は“人生で必要なことは、すべてゴルフ場で教わった”と言われたいものである。

## 平成18年度KGA春季ジュニア・ゴルフスクール

# 7会場に661名のジュニアが参加

——将来の日本のゴルフ界を担うジュニアの春休み——

写真／片山晴美・舟橋一芳・塚越克一（各KGA広報委員）

## 第6スクール

### 千葉カントリークラブ 梅郷コース

平成18年度KGA春季ジュニア・ゴルフスクールは、3月20日（月）第1スクール鷹之台カンツリー倶楽部を皮切りに第2スクール（22日=セントラルゴルフクラブ）、第3スクール（27日=我孫子ゴルフ倶楽部）、第4スクール（31日=ハイランドセンター）、第5スクール（4月3日=茨城ゴルフ倶楽部）、第6スクール（4月3日=千葉カントリークラブ）、第7スクール（4月4日=青梅ゴルフ倶楽部）で、それぞれ開校された。このスクールには延べ661名のジュニアが参加、ゴルフへの関心の高さを示した。

本誌は7会場のスクール中、第4スクールの初級・初心者クラス、第5スクールの中・上級者クラス、第6スクールの親子教室をそれぞれ取材した。



満開の桜の下で「よろしくお願ひします」と丁寧に帽子を取って挨拶



「ウワーッ！ うまくいった！」アプローチ大成功。  
思わず両手が高々と挙がる——練習場にて——



スタート前のストレッチにも真剣な表情



受講者全員がクラブハウス前に集合、  
大鷲ジュニア育成委員長の注意を聞く

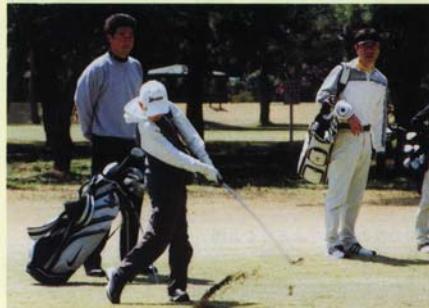


スタート前、緊張した親子の表情

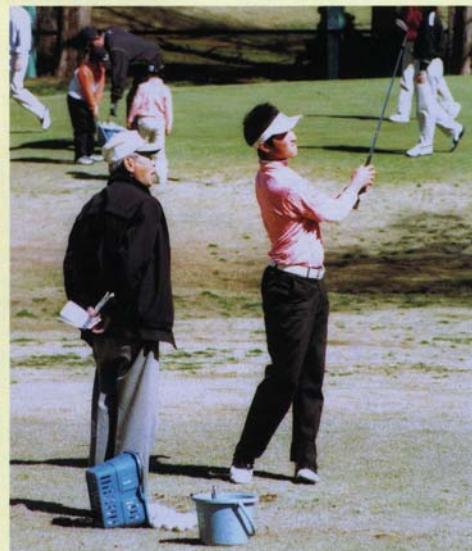


スタート前の素振り練習。鏡に映したようによく似た親子のフォーム

や天日輝



ナイスショット！見事なフォームでのアイアンショット



伊藤涼太選手？フォームもスタイルも伊藤君によく似たジュニア



プレーが終わったらクラブ磨きも忘れない



お昼は親子揃ってカレーライス



練習が終わったらみんなで球拾い

第5スクール

茨城ゴルフ倶楽部



茨城ゴルフ倶楽部（第5スクール）は中・上級クラスのジュニア。さすがにフォームがしっかりしていて、ショットも抜群

KGA春季ジュニア・ゴルフスクールの第4スクールは、昨年に引き続き、ハイランドセンター（東京都杉並区）で、初級・初心者を対象に開校された。このスクールには、27名のジュニアが参加、晴天のショートコースで男女プロ10名による実技指導、さらにジュニア育成委員たちからルール、マナーなどの指導を受けた。初めてクラブを握る受講生などもいて、和やかに一日を楽しんだ。



池超えのショートホール。初級とは思えないナイスフォームだ



練習前の準備運動。ジュニアらしく、柔軟な筋肉が目立つ



開講式で。「ゴルフをやったことがある人は？」に「ハーヤー」と元気よく手を擧げる



## ジュニア育成は 長野県の最重要課題

長野県代表理事 関東ゴルフ連盟常務理事 赤羽 功

長野県ゴルフ協会 事務局長 細田欽也

インタビュー／高橋正孝 (KGA広報委員長)

カット／山縣和彦



赤羽功KGA常務理事

今回は平成17年12月末の理事会の合間に、長野県の赤羽功常務理事にインタビューさせていただきました。また、長野県ゴルフ協会の細田欽也事務局長にも同席頂きました。

### ●長野県の現況と組織

**高橋** それでは早速でございますが、長野県の現在のゴルフ団体の活動状況と、特にKGAとして長野県ゴルフ連盟の形成と運営に助成金が出ていますけれど形成状況はかなり進んだと伺いましたがいかがでしょうか。

**赤羽** 先ずそれをお答えする前に長野県の現況をご説明します。長野県のゴルフの発祥は、戦前の大正8年に旧軽井沢ゴルフクラブが開場した時点です。ほとんどのゴルフ場は戦後に造られ、現在は76コースあります。その多くはリゾート地を拠点としたゴルフ場です。長野県は山岳地帯で平らなゴルフ場は無く山岳コースで標高にすると約600メートルから1,500メートルのところにあります。長野県には関東圏に近い地域と、伊那や木曽のように中京に経済圏を持つところがありまして、関東ゴルフ連盟には32倶楽部が加盟しており、中部には6倶楽部、残り

はどこへも所属していません。組織図（17ページ参照）長野県ゴルフ協会をつくるのに先立ち、長野県ゴルフ連盟には76のうち63倶楽部が加盟して、昭和54年に発足しています。平成8年頃に長野県ゴルフ連盟と市町村のゴルフ協会、既存の競技団体などすべてを合体して長野県ゴルフ協会を設立したという経過があります。76倶楽部のうちゴルフ協会には13コースが未加盟です。

**高橋** 未加盟のゴルフ場というのはどういう性格の倶楽部ですか。

**赤羽** 主に避暑を目的にしたパブリックコースですね。避暑に来る県外のお客さんをターゲットにして経営しているリゾート地独特のものです。

**高橋** それでは長野県ゴルフ協会をおつくりになって、現在一番力を入れている活動はどんなことでしょうか。

**赤羽** ゴルフ連盟とゴルフ協会は一体で活動しています。競技の主催はゴルフ協会、場所の提供はゴルフ連盟が受け持っています。

KGA加盟倶楽部の32倶楽部は、倶楽部対抗やアンダーハンディ競技にほとんどが参加をしています。

**高橋** なるほど。63倶楽部と一緒に揃つ



細田長野県ゴルフ協会事務局長



てのイベントは少ない方ですか。

**赤羽** はい。だから自ずと住み分けみたいな形があります。この63俱楽部のゴルフ場連盟は独自の競技会を持っているのです。たとえば、シニアやレディースなどです。これは28年ぐらいの長い歴史があります。長野オリンピックを契機に、当時連盟ではオリンピック協力金を1入場者から50円を集めた経過があります。それを踏まえてプロ・アマ大会をずっと運営しており、長野県オープンへの基礎作りをしています。

**高橋** そうですか。現在は長野県オープンの開催はないのですか。

**赤羽** まだオープン開催には至っておりませんが最終目標としてフォローしています。

**高橋** ところで、今のKGAの体協部会にはゴルフ協会から委員を出されていますか。

**赤羽** はい。体協部会はゴルフ協会が対応しております。ゴルフ協会をつくるときに、国体に参加するというテーマがあり、それが出発点となつたのです。

### ●ゴルフ団体の財政とゴルフ場をめぐる税務

**高橋** こういう協会の活動は、当然予算的な裏づけが必要ですけど、それはどのような形で確保されているのでしょうか。例えばゴルフ場に

来るお客様から10円ずついただくとか。

**細田** それはありません。協会の財務面は、総トータルで今年の収支予算が1,000万ぐらいです。収入としては、ゴルフ場連盟からの支援金、競技を主催するマスコミからの補助金、独自にトーナメントをやっている団体が2つあります。そこからの補助金、さらに競技者登録料と言いまして、協会主催の大会に出るために年1,000円の登録料を納める制度があります。また、いろいろな大会を開催して、その参加料の残余も財源となります。

**赤羽** そんなところが出どころです。組織の中で市町村が末端ですから、その会費で貯えればいいのですが今の市町村財政は苦しいの多くは望めません。

**細田** さらに協会加盟支部として4支部あり、それぞれ15万円ずつの分担金をいただいている。この原資は各支部が市町村対抗を開催しており、県大会の予選になるのです。主にその予選のエントリーフィーから分担金を納めてもらうのです。でも人数からいきますと非常に少ない(笑)。

**高橋** なかなかご苦労なさっていますね。ところでゴルフ場利用税の軽減問題ですが、関東では東京や千葉のように、65歳以上が非課税というところもありますけれど、長野県は70歳以上ですね。年齢を下げるなどお考えはありますか。先ほど拝見させていただきました平成17年度非課税者の利用実績では70歳以上が92%、18歳未満2%、障害者その他で6%ですね。

**赤羽** これを60歳位までにできればゴルフの発展と振興の一助になることは事実です。その段階として、今おっしゃられたように65歳以上の非課税を目標にして、昨年度も県に打診していますが、三位一体の改革の中で地方財政はなかなか思うようになりますね。

**高橋** それから1人当たりの利用税について最低金額がありますよね。一般的には1人当たり



高橋KGA広報委員長

800円から1,000円ぐらいですけれど、それを600円に持つていこうという話もあるんですよ。もちろんみんな断られていますけど(笑)。地方自治体にとっては貴重な財源ですよね。

**赤羽** 市町村にとっては、一度取ったものを今この時期に手放すような方向にはなかなか進まないですよね。これは固定資産税の問題も同じことで、県の地方課、町村課等にゴルフ場連盟は陳情しているのですが、県の地方課の回答は、ゴルフ場が所在する自治体に直接話しをしていただきたいとのことです。18年度の評価替えでは、これまで下がってきていた地価を各ゴルフ場で調べて、各市町村に細かな説明と陳情をしてほしいという指示は出しています。

**高橋** 実務面にしますと、一筆の広い土地をゴルフ場用地とゴルフ場用地以外に分筆しなきゃいけないとか、いろいろな手続きも出てきて面倒ですけどね。やはりゴルフ場の置かれた実情をお考えになって、個々のゴルフ場で判断されるのが一番いいでしょうね。特に新しくできたゴルフ場は、開発許可の面で相当広い土地を山林のまま残しているところが多いですからね。

**赤羽** 緑地帯も含めてゴルフ場を許可しているから、個々のゴルフ場でお願いをしたり説得をしたりして緑地帯部分の評価を下げてもらうにしています。現実的に私もそういうことをやりました。それで計算しますと2万坪ぐらいは引いてもらっているという実例がありますね。

**高橋** ところでゴルフ場の来場者数ですが、ここ数年はどのような傾向でしょうか。特に去年はいかがでしたか。

**赤羽** 下げ止まりが来たような感じはしており

ます。平成4年はピークとなり県全体で250万の来場者があったのですが、毎年下降をたどり180万台まで来たのです。去年、おとし等の数字を見ると、ここに踏みとどまり落ち着いてきたのかなと言った感じですね。

### ●ジュニア育成の動き

**高橋** ゴルフ界にとってジュニア育成はやらなければいけない大きなテーマで、KGAでも大変注目しています。しかし、育成にはとても多くの人材と資金がかかるのですが、長野県ではどのような状況にあるのでしょうか。

**細田** 夏場だけという期間しかできないことは活動面の大きな制約です。グランステージ丸子では、以前からKGAの夏季ジュニアスクールを開催しており、ほかでもジュニア向けのイベントを試しにやってみようというところが幾つか出来きました。例えば諫訪湖は練習場があり、そこで初心者はスナッグゴルフで遊び、打ちたい子は往復できるホールがあるので好きにやらせているのです。同様に穂高も去年から始めました。どこもまだ遊ばせるという段階ですけども、丸子を一つのモデルケースとして活動が増えてきています。

**高橋** だいぶ広まってきたね。私は時々、突飛なことを考えるんですけど、リゾート地ならば、夏休みに東京の子供を集め2~3日(笑)。

**赤羽** 預かって。それは、いいアイデアですね。

**高橋** それで将来大人になったらリゾート客としてゴルフを楽しんでもらう。将来に繋げるのも、一つの方策じゃないかと思いますが。

**赤羽** そうですね。ただ夏の最盛期に多数のお客さんがプレーするゴルフ場では、対応が難しいと思いますね。

**高橋** そういう点はありますね。本当に学校が夏休みの時にお客様が集中しますからね。

**赤羽** それが生命線ですからね。比較的標高の

低い丸子などは、夏はお客様がやや少ない方ですからジュニアのイベントに開放しているのです。27ホール中9ホールだけをジュニアに開放して首都圏から迎えて、泊まるところを見つければ受け入れも可能になりますね。

高橋 安くできる方法を見つけていただければいいですね。KGAでは組織立ったゴルフスクールを主体にやっているのですが、広い意味でジュニア育成はいろいろな形があると思うので、長野県としての独自の育成があるといいですね。

赤羽 以前、私はゴルフ場の近隣小学校や保育園、幼稚園を回って、ジュニアの催しに協力を依頼したことがあるのですが、ある校長から「先生たちはゴルフ場の中を見たことがないという人が大勢いますよ」と言われたんです。ですから、まずゴルフ場に遊びに来てくれることに大きな意義があると思います。その時の催しは、親子で参加してもらうのですが、隣のおさんも連れてきて参加してくださいということにしたのですよ。

高橋 それでは長野県のジュニア育成の目標をお話しいただけますか。

細田 そうですね。ジュニア育成は協会において非常に重要項目にしました。4年目になりますが長野県ゴルフ場連盟にお願いして、ジュニア料金を3,000円に設定してもらいセルフプレーで受け入れてもらえることになりました。参加者はJGAジュニア会員になってもらい、その会員証を持って予約すれば3,000円でプレーができるのです。ここまで作り上げたのですが残念なことにゴルフをする子供たちが少ないんですね。それでもっと問口を広めるために、簡単に親しめるスナッグゴルフを普及させることにしたのです。しかし問題なのは、まず費用がかかる事、そして指導者が少ないとですね。一口はお金がかかりますのでボランティアにお願いしています。あと場所の確保も大変ですね。

高橋 それなりの場所が必要ですからね。

細田 そうなんです。協会では、今年4月の協会役員会でジュニア委員会を充実させました。これらの諸問題について、育成プログラムを作成して一つ一つ取り組んでいます。

赤羽 特にジュニア育成は、ゴルフ場だけが先行してもダメで、地域を巻き込み、メンバーに理解していただき、そしてゴルフ場を開放する。それが一体にならないと効果はなかなか上がってこないですね。

高橋 埼玉県では、親がゴルフをしないジュニアを集めてスクールを開催しています。私のゴルフ場でも芝を傷めてもいいから3ホールだけ回りなさいと回らせちゃうんですよ。芝も結構ほじくりますけどね。でも、私どものところは逆に夏は空いていますから、その辺でいくら芝をほじくっても、すぐにもとに戻りますし、目土袋を持たせて練習をさせています。私どもは最初にまずコースへ出ることで、コースに対しての恐怖感を持たせないというのが一番の目的にしているのです。

赤羽 もう一つジュニアに関連したことですが、全日制の県立高校では家庭の収入減から授業料減額の申請が、10年前の総生徒数比2.1%から平成17年には6.7%に増加したことが報道されています。これは経済環境が厳しくなって来たことを示しているわけです。ですからゴルフ場側も他県との比較で厳しい環境の中、県内ジュニアに対する開放をさらに進めることができることです。

### ●長野県の女性ゴルファー

高橋 長野県では女子のゴルファーの比率というのは、大体どのくらいになるのでしょうか。一般的には13%ぐらいですけれど。

細田 例えば競技ゴルフだけで見ますと、長野県のアマチュア選手権に出てくる男子が1,200

人、女子が120人で10分の1です。女子ジュニアに至ってはもっと少ないです。

高橋 ちょっと女性層が少ないようですね。

細田 女性の場合はある年齢で、競技ゴルファーも結婚とかその他の事情で制約されますからね。

高橋 子育て10年は休まなきゃいけない。若いうちはそこそこでプレーしていても、子育てに入るとビギナーに戻り、学校に入って手がかかるなくなるまでの期間がハンディになりますね。

赤羽 女子選手権などの倶楽部もやっていますが、一般的に競技参加者人数として最低4組なので、規定人数に達しなくて苦労をしているのが現状です。県の女子アマになれば出場する人はかなりいますけれどもね。チーム単位ですと少数になりますね。

高橋 そうすると県内で女性の倶楽部対抗を開催する機運はまだないようですね。

赤羽 そこまで至っていない状況ですね。

### ●KGA主催競技への要望

高橋 ところでKGAの競技に関して伺います。一番大きな競技は倶楽部対抗ですが、参加される倶楽部数はどのくらいですか。

赤羽 これまで24倶楽部です。この内3倶楽部が決勝進出ということで、もう1倶楽部参加すれば決勝戦に4倶楽部が出られるのですけども。

高橋 それぞれの倶楽部の事情もありますから

ね。できればどこか参加していただけると予選の段階での励みが増えるというか、やり甲斐が出てきますよね。

赤羽 倶楽部として加盟している意義と言いましょうか。以前はKGAに加盟していることが誇りで、加盟倶楽部になることがステータスでしたからね。今やその点は薄れていますね。

高橋 そうですね。変わりましたね。

赤羽 倶楽部がKGAから退会したいと言っても、メンバーから倶楽部対抗があるからそれはだめだよという歯止めの競技ですからね。

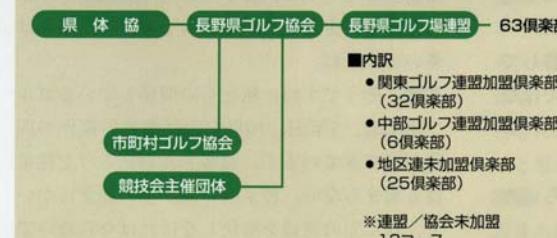
高橋 そうですね。

赤羽 倶楽部対抗が最も意義のある競技ですから、より出やすく、やりやすくすることにKGA自体の予算配分なども留意すべきです。コース使用料も他の競技と同様に50万円に削らずに、KGAを代表するような最も大事な競技会は昔の100万円に戻した方がいいと思います。KGAに加盟している一番の目的は、メンバーが倶楽部対抗に参加できることですから、各県の予選会は盛大に加盟倶楽部が参加することを狙いにしなければいけないと思います。

高橋 その辺について何か具体的なご提案がありましたら、ぜひご遠慮なく。

赤羽 現在参加料が15万円ですが、例えば10万円にして多くの倶楽部が参加できるようにすることも一つの方法ですよね。そしてコース使用

#### ■長野県ゴルフ団体組織



#### ■長野県ゴルフ場利用状況

平成	倶楽部数	千人	千人/1施設
4	64	2,594	41
5	67	2,502	37
6	67	2,453	37
7	67	2,363	35
8	70	2,318	33
9	70	2,347	33
10	72	2,188	30
11	74	2,131	29
12	76	2,073	27
13	77	2,023	26
14	77	1,956	25
15	77	1,872	24
16	77	1,865	24
17	76	1,867	25

\*連盟/協会未加盟 13コース

料は100万円に戻す。長野県では予選会場を全加盟俱楽部の持ち回りにしましたので、やりやすい状況が出来ればありがたいなと思います。

**高橋** 確かに俱楽部対抗のもう1つの目的は、全加盟俱楽部が会場になるチャンスがあるということですね。

**赤羽** 長野県は32しかないから、全部に回ることを決めて、出場俱楽部は1人ずつキャディに日当などを支払って連れてくるんですよ。練習ラウンドから来てもらわないと俱楽部対抗の予選運営が難しくなりますからね。今のところは1俱楽部1人を帶同していますが、足りない分は参加俱楽部で協力して補充しています。

アンダーハンディにつきましても開催コースは、ほとんどが持ち回りです。アンダーハンディ競技は4つの地区を回っていくことで、キャディがいないところでも参加俱楽部から応援してやっています。それに魅力があるとも言われていますよ。特に長野県で、関東の他の競技会に出られるものは少ないですね。昨年のようにハンディキャップシステムを改定したときはとても大変でしたが、それを乗り越えて120名くらいの選手が集まりました。

**高橋** 大勢の方がエントリーされたのですね。

**赤羽** 予選に多く出れば決勝に残る率も多いですし、決勝戦は関東の有名なゴルフ場に出られますからね。加盟俱楽部としても決勝進出のエントリーフィーを補助したりしています。なるべく大勢の選手が長野県から出てもらいたいですからね。おととし、先おととのアンダーハンディAクラスは、男女とも長野県が優勝しています。雪国ですからスクラッチプレーではなく対抗できませんが、これはアンダーハンディの妙味ですね。

**高橋** エントリーフィーを下げるなど、いろいろありましたね。

**赤羽** 去年はハンディキャップの改定等ごちゃ

ごちゃして、なかなか集まらなかつたんです。何回も会議を開いて選手参加の要請をしてようやく集まつたのです。とにかく第1回から第11回まで、100名を切つたことはありません。

**高橋** 俱楽部対抗と同時にアンダーハンディは、KGAの中で他の競技と全然違う性格の競技ですから、これが大きな売りにもなつてゐるわけです。

**赤羽** それをより強調して参加しやすい形を作つただければ大変ありがたいですね。

**高橋** いずれにしても、長野県で120人もアンダーハンディに参加してくれるというのは、他県にとってひとつ励みになっていますね。埼玉は参加者が二けたじゃないか、もっと頑張らなければ、となりますからね。

**赤羽** 放つておいただけでは、やっぱり三けたにはならないんですね。

**高橋** それだけご努力なさつてゐるわけですね。そういう点も含めて、他県の参加者が少ないところに努力してもらいたいと思います。

**赤羽** 決勝に残つて帰つてきた人はみんな喜んでいます。普段プレーできないようなコースでプレーできますから、これが魅力なんですよ。

### ●KGAに対しての要望

**高橋** KGA競技に関してのご要望を伺つたわけですけど、改善できる点はどんどん取り上げたいですね。それではKGAに対する要望は何かありますか。

**赤羽** そうですね、日本の総人口が減り始めましたから、生き残るゴルフ場を考えると悩みが多いですね。

**高橋** そうですね。私どもの関係しているゴルフ場でも、5年先、10年先の従業員の確保の問題が出てきています。お客様も減るけど従業員も集まらない。将来のゴルフ場の運営について、常に先の課題を解決しなければならないですね。これから先は一つの方向として海外から

の働き手の移動も考える必要性もあると思います。

**赤羽** これまで政治にかかわらなかつたJGA、KGAが、利用税の廃止という問題で政治的に動きました。これから日本人が健康で長く生きるためにゴルフというスポーツが貢献するということで政・官を取り込み、これから的人口減少に伴いゴルフ環境も変化しますから、JGA、KGAに諮問機関をつくつてみてはどうでしょうか。ゴルフは健康スポーツであり、ゴルフ場は健康産業という位置づけをはっきりさせる意味も含めて。文部科学省ばかりでなく他の省庁も又有識者も巻き込んでみてはと思いますね。

**高橋** リハビリなどにゴルフを利用してもらうとかですね。そういう意味では長野県はいい環境ですから、先を見た展開がありそうですね。

### ●長野県の展望

**高橋** 最近は会社をリタイアした人たちが、オーストラリアだとニュージーランドとかに移住していますよね。向こうは生活費が安いですから、年金だけで生活ができるわけですよ。長野県でもゴルフをしながら、年金で生活ができるような環境をつくつたらどうでしょうか。

**赤羽** ジュニア育成の道は細くて長い。でもそれをやらなきゃいけません。しかし団塊の世代は、近いうちに現場を離れますから、生活拠点を移動してもらい、ゴルフが毎日できる環境もありますよという展望も考えられまね。

**高橋** 長野県はそういう意味で間口がいろいろありますね。

**赤羽** 生き延びる道を模索して行くことですね。

**高橋** KGAの加盟俱楽部にはいい模範になりますよ。自分たちの仲間内だけで考えてないで、他の人の知恵もかりるということが、私は最も大事なことだと思いますね。ともかくゴルフ場は長く持続してもらうということが必要ですし、売り上げを増やす事ばかりでなく、むしろいろ



いろ身の回りのものを広げてゴルフ場の仕事を見直していくことで、横に広がるのではないかと思います。持続性のある改善を重ねることで特徴あるゴルフ場もでき上がりてくるし、将来いい方向になるのではないかと。

**赤羽** 生き延びる道ですね。

**高橋** というようなことになればいいですね(笑)。

**赤羽** ゴルフ場がしっかりしていかなければ、より良いゴルファー、より良い選手が育ちません。

**高橋** やはり元気がないといけませんね。

**赤羽** ところで関東オープンは第50回の長野大会で終了したのですが、あれは寂しいですね。

**高橋** これもKGAの中で状況の変化があれば、また変わってくる可能性もありますね。あの当時の状況では大会終了が一つの判断だったと思うんですけどね。そういう点も含めて、いろいろアドバイスをいただければ幸いです。

今日は本当にいろいろとさくばらんにお話を聞かせていただきまして、ありがとうございました。長野県のKGA加盟俱楽部が一層元気になられることと、長野県の各ゴルフ関係団体が所期の目標を達成し発展されますことを期待し、今回のインタビューは終了させていただきます。

# 距離計測器の使用を認める ローカルルールについて

解説／鈴木昭満  
(KGA規則部会長)



このたび日本ゴルフ協会から2006-2007年度版ゴルフ規則裁判集の日本語版が発刊されました。これはゴルフの統括団体であるR&AとUSGAが、2年に1度発行するゴルフ規則裁判集によるもので今回発表されたのは、新裁定が37、改訂裁定が66、撤回裁定が8、あわせて111以上に及びます。

毎年、R&AとUSGAは世界中のあらゆるレベルのゴルフゲームにおいて生じたコース上の出来事に対しゴルフ規則の解釈と適用について多くの質問を受けます。4年に1度のゴルフ規則の変更の間に、2年に1度、裁判集中でその規則の解釈や適用の修正が発表されることは公正なゲームに役立ちます。裁判集中には質疑応答のかたちで1200を超える個々の裁定が収録されています。

その中で最近話題になっている「距離計測器」のラウンド中の使用について、問合せが多く寄せられています。これは今回の新裁定で「距離計測器の使用をローカルルールで認めることができる」という新しい解釈が示されました。なぜか、それは距離の計測や、風や傾斜の具合などを読むこともプレーヤーの技量の内であるという考え方があるからです。ではそれをローカルルールで使用することを認めることはこの規則の根本を覆してしまうことにならないか、またプレーヤーの「楽しみ」を奪ってしまうことにならないかという懸念が生じますが、この背景には、アメリカにおいて距離計測器や距離計測器が搭載された乗用カートが産業として成り立つほど一般的に普及が進んでおり、やがて日本を含むいくつかの国でも導入されるよ

## 新裁定

14-3 / 0.5 距離計測器の使用を認める  
ローカルルール

質問 委員会はローカルルールで距離計測

器の使用を認めることができるか？  
**回答** 許すことができる。委員会はプレーヤーに距離のみを計測する機器の使用を許すローカルルールを制定することができる。しかしながら、プレーヤーのプレーに影響を及ぼす他の状況（例えば、風や傾斜）を計測する機器の使用は認められない。  
このようなローカルルールがない場合、距離計測器の使用は規則14-3の違反となる。

規則14-3「人工の機器と異常な用具」では、規則で規定されている場合を除き、プレーヤーは、正規のラウンド中に人工の機器や異常な用具を使用してはならず、その中で「プレーに影響するような距離や状況を測る目的のもの」と規定されています。そしてそれを使用した場合の罰は競技失格となっています。

なぜこのような用具の使用を認めていないのか、それは距離の計測や、風や傾斜の具合などを読むこともプレーヤーの技量の内であるという考え方があるからだと考えます。ではそれをローカルルールで使用することを認めることはこの規則の根本を覆してしまうことにならないか、またプレーヤーの「楽しみ」を奪ってしまうことにならないかという懸念が生じますが、この背景には、アメリカにおいて距離計測器や距離計測器が搭載された乗用カートが産業として成り立つほど一般的に普及が進んでおり、やがて日本を含むいくつかの国でも導入されるよ



プレーヤーにとって距離の計測は技量の内、自分の目も信じよう

うになってきたという事情があります。またプロのトーナメントでよく見られる光景ですが、プロが残り距離の把握などに使っている「ヤードエッジブック」、それと同じように考えられるのではないだろうか、また、わざわざ歩測してプレーの時間を遅らせるよりも、距離計測器を使用することによって逆にプレー時間の短縮になるのではないだろうかなど様々な意見が出され、こうした背景からこのローカルルールを制定できるようになったわけですが、これは距離のみを計測できる機器について適用し、風や傾斜、気温などといったプレーに影響を及ぼす可能性のあるものまでを計測する機器は含まれません。なお、KGA主催競技では、現在、このローカルルールの制定は考えていません。

またこれとあわせて8-1 / 2「距離についての情報を交換する」という裁定についても解釈が改められ、これに関しては問合せが寄せられています。

## 改訂裁定

8-1 / 2 距離についての情報を交換する  
2点間の距離に関する情報は周知のことであり、アドバイスではない。それゆえ、ブ

レーヤーたちが2点間の距離に関する情報を交換することは認められる。例えば、プレーヤーは相手や同伴競技者、それらのキャディーをも含め誰にでも自分の球とホールとの距離を尋ねることができる。

改訂前は球とホールまでの距離についての情報はアドバイスとなっていましたが、改訂により2点間の距離についてはアドバイスではなくなりました。なお「誰にでも」という意味は、例えばギャラリーも含め文字通り「誰にでも」という意味に解します。この改訂について、従来は定置物間の距離、例えばバンカーからグリーンエッジまでの距離などは周知の情報でアドバイスにはなりませんでしたが、不定置物（球など）から定置物までの距離の情報はアドバイスとされていました。今回の改訂により2つの物が定置物であるかどうかは関係なく周知の事実とみなされます。このことについては、プレーヤー間で距離計測器を使いあったり、それで得た距離情報の交換が可能となり、これも距離計測器がローカルルールで認められたことに多少関係があるのかも知れません。

ここで注意しなければいけないのは、実際の2点間の距離ではなく、例えば同伴競技者に「あの池を越えるのに何ヤード必要か？」と聞くことはどうでしょうか。これはアドバイスを求めるになります。今回の改訂により認められているのは2点間の距離であり、何ヤード打つべきかという内容はアドバイスになります。

ここでもう一度「アドバイス」という用語の定義を確認しておくと、「アドバイス」とは、プレーヤーのプレー上の決断や、クラブの選択、ストロークの方法に影響を与えるような助言や示唆」とあります。

## 新規加盟倶楽部紹介

## エーデルワイスゴルフクラブ



## 1. 倶楽部名 エーデルワイスゴルフクラブ

住 所 〒350-0455

埼玉県入間郡毛呂山町154

電 話 049-294-9311

F A X 049-294-4053

## 2. 開場年月日 平成1年8月1日

## 3. 理事長 杉山 恵夫

## 4. 倂楽部分科委員長

競技委員長 嶋峨 政義

ハンディキャップ委員長 田口 英美

フェローシップ委員長 細瀬 光弘

## 5. 支配人 石川 政好

## 6. 倂楽部概要

当倂楽部は平成元年8月にオープンし、今年18年目を迎えるコースでございます。

関越自動車道鶴ヶ島ICより西に約13kmという立地にあり、近年は圏央自動車道や、新たな県道が開通し更に利便性が増してきております。

コース設計は米国のベリー・ダイが手懸け、チャレンジ精神を掲げて戦略性に富む飽きの来ないレイアウトに造形されています。池・バンカー・グラスバンカーを巧みに配し各ホールを特徴付け、特にバンカーは深いボットバンカー、2,000mを超える物や150m以上に及ぶ長い物等、そして12番ホールには10個配置されており様々な顔でプレイヤーにプレッシャーを与えております。又13番ホールはグリーン廻りが全てグラスバンカーで囲まれた特徴のあるホールとなっています。そして800~1,050mあるグリーンは大きくうねった高低のある造りとなっておりさらに難易度を増しておりますが、カップの位置によりプレーの度に違った面白さをかもし出しております。

この度の関東ゴルフ連盟加盟を機に会員の皆様を始めお客様に愛されるゴルフ場を目指し、従業員一同努力していく所存でございますので今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

## 総会・理事会・分科委員会

平成18年度  
第58回通常総会議事録

日 時 平成18年2月21日（火）

午前10時

場 所 ホテルニューオータニ 麗の間  
定刻吉田理事長席に着き、事務局より加盟501倂楽部中、委任状を含め380倂楽部の出席となり、適法に成立した旨の報告の後、議事録署名者として、大原憲二常務理事、大鷲俊朗理事を指名し、開会を宣した。  
議長より平成17年度活動報告及び平成

18年度活動方針につき所信が表明された。

具体的には平成17年度に関しては、ゴルフ場をとりまく環境が厳しい状況下ではあるが、加盟倂楽部、コース・レート査定の増加、J-sys普及とシステムの変更に伴うカード処理料の増加と共に、各競技も順調に推移し、特に女子ミッドアマ、ミッドアマ、シニアの各競技の参加者が増加している。但しアンダーハンディキャップ競技のよう前年を割る競技も見られ今後の課題となった。

連盟収支も、一般・特別両会計とも予算を上回る結果を確保し得たことにつき、関係各位に対し、感謝の意が表された。

平成18年度の方針については、  
 (1)連盟内部の各機能強化と活性化  
 (2)主催競技の充実した運営の展開  
 (3)倂楽部対抗競技の制度改善と充実  
 (4)アンダーハンディキャップ選手権  
 競技の活性化  
 (5)JGAハンディキャップ制度の普及  
 とカード処理料の改善  
 (6)ジュニアゴルファー育成制度の改

## 善・強化

(7)未加盟倂楽部の加盟促進  
以上の7つの方策を役員・分科委員の方々と充分な話し合いをしながら確実に展開し、加盟倂楽部の親睦による連携強化と健全なゴルフの普及・発展を図るという当連盟の使命を果たしたいという所信表明の後、上程議案審議を行った。

## —決議事項—

## 第1号議案

「平成17年度事業報告、並びに一般会計・特別会計収支決算書の承認の件」

議長の指示により、事務局より、総会・常務理事会、理事会、各分科委員会の審議事項、活動内容及び主催競技につき説明がなされた後、一般・特別両会計の決算報告が行われた。

次いで近藤監事の監査報告がなされ、原案どおり承認された。

## 第2号議案

「平成18年度事業予定、並びに一般会計・特別会計収支予算（案）の承認の件」

小宮山副理事長より、予算編成の基本方針が示された。具体的には、収入に関して、一般会計では、新規加盟倂楽部を2倂楽部とし、参加料は昨年の参加者実績で考えた。特別会計では昨年度の実績がハンディキャップ制度の変更、女子のハンディキャップ制度の導入で特にハンディキャップ査定枚数が増加したことを考慮して昨年度比10%少なく見込んで作成をした。

支出に関しては、一般・特別両会計とも昨年実績を基本的に編成した。編成に当っての増減は、

(1)競技会において、倂楽部対抗、アンダーハンディキャップを除く各競技会においてはパーティ一を実施しない。  
 (2)ルール・セミナーを実施する。  
 (3)ジュニア選手権予選競技の参加章を準備する。  
 (4)KGAニュースをオールカラー化

する。

⑤一般経費では、弁護士との顧問契約、規約改正等による印刷及び各会議の充実を図る。  
これにより新年度予算の収支は、収支均衡に近い若干の黒字を計上しているとの説明がなされた。  
次いで事務局より上記方針に基づいた一般・特別両会計の予算案につき報告がなされ、原案どおり承認された。

## 第3号議案

「関東ゴルフ連盟」規約改正（案）の承認の件

議長の指名により、小宮山副理事長より規約改正の基本方針が示された。現在の規約は、現状の連盟運営において種々不都合が生じているため、運営を滑調に行っていくために改正を行いうものであり、1年間、総務委員会と常務理事会・理事会とで充分に検討してきた事の説明がなされた。  
次いで事務局より次の改正点につき詳細な説明がなされ、原案どおり承認された。

①第7条の改正 ②第12条の改正  
 ③第22条の改正 ④第34条の改正  
 ⑤入会細則、委員会細則の作成

議場では、加盟申請書の記載事項の確認、文言の確認等の発言があった。

## 報告事項

①財日本ゴルフ協会「平成17年度事業報告、および決算報告」並びに「平成18年度事業計画、及び予算」に関する件

議長の指示により、事務局より次の報告がなされた。

平成18年度事業計画および予算は、平成17年12月19日の財日本ゴルフ協会理事会において決定し、加盟倂楽部に送付済みである。平成17年度事業報告、および決算報告については、来る3月1日に開催される財日本ゴルフ協会理事会終了後に送付される予定である。

全議事終了後、次の諸点につき、質問及び発言がなされた。  
 (1)新JGAハンディキャップ制度の進

## 摺状況

(2)KGAが主導的立場で、ゴルファーのエチケット・マナーに対する意識の高揚運動の推進

(3)ユニセフチャリティゴルフへの協力に対する謝辞

(4)新規加盟倂楽部承認に対する謝辞  
以上をもって総会の議事を終了、11時35分閉会を宣した。

総会終了後、懇親パーティーが多数報道関係者を迎えて盛会裡に行われた。

平成17年度  
第5回常務理事会議事録

日 時 平成17年11月15日（火）正午

場 所 ルビーホール 羽衣の間

出席者 吉田理事長、  
 小宮山、竹田兩副理事長  
 稲川、岩宮、大原、齊藤、  
 高橋、塚原、南学、萩原、  
 広中、森川、渡邊各常務理事  
 同 席 平山理事（入会推薦理事）  
 定刻、吉田理事長、議長を務め開会を宣し、議事録署名者として渡邊満之助、稲川廣政両常務理事を指名した。議事に先立ち11月より就任の加藤重正新局長の紹介があった。

## —討議及び決議事項—

## ①加盟審査の件

推薦理事、事務局より正会員入会申請倂楽部の内容につき報告がなされ、以下の申請3倂楽部の入会を承認した。

①「ザ・カントリークラブ グレンモア」（千葉県）：  
 推薦 渡邊常務理事  
 ②「ジェイゴルフ霞ヶ浦」（茨城県）：  
 推薦 平山理事（承認後退席）

③「上野原カントリークラブ」  
 （山梨県）：推薦 稲川常務理事

④平成17年度一般会計・特別会計決算案ならびに平成18年度一般会計・特別会計予算案に関する件  
 議長の指名を受け事務局より説明がなされ、今常務理事会で承認された事項を反映させた内容を次回開催される理事会に諮ることが承認された。

主な質問、意見は次の通り

- ①競技諸費の内容について
- ②競技開催時のコース使用料、各都県助成金の値上げについて
- ③KGAニュース写真等のデータベース化予算の計上について
- ④年会費未納俱楽部における主催競技の開催について
- ⑤年会費未納俱楽部所属会員の主催競技出場について

### ③各分科委員会報告、及び提案の件

#### (1)競技委員会

競技委員長野口常務理事欠席の為、議長の指名を受け事務局より野口競技委員長よりの報告事項、提案事項の説明がなされた。

#### ①平成18年度関東俱楽部対抗競技開催方式の件

第3回常務理事会にて決定され、今常務理事会で報告事項となつた各都県の開催方式についての報告がなされた。内容は以下の通り。

#### ②開催方式変更都県

栃木県：A4名、B3名出場、クラスに係なく上位6名のスコア合計  
山梨・埼玉・千葉県：A、B両クラス各4名出場、各ベスト3名、計6名のスコア合計

#### ③現行開催方式採用都県

新潟県、長野県、群馬県、茨城県、東京都、神奈川県、静岡県

#### ②俱楽部対抗競技について

「会場ブロック数」「複数会場のブロック振り分け方法」、「タイの決定方法」については、各都県の開催方式が同一でないため各都県に一任することとなった。

#### ③決勝競技表彰式及びパーティについて

俱楽部対抗、アンダーハンディ予選・決勝は従来通りの開催方式とし、他の競技については競技委員会に開催規模縮小、開催方式について再考依頼が出され、競技委員会に一任された。

#### ④アンダーハンディキャップ競技の開催方式について

現行開催方式の問題点の報告がなされた。特に、各ブロックにより参加者のバラツキ（※参考）があり、来年度はこの点を考慮した開催が必要であることが報告された。

審議の結果、来年度の具体的な開催の方式については本年度の問題点を考慮して競技委員会より提案をしてもらうとした。その後、提案の結果について各常務理事より各都県の意見をまとめてもらい、各都県の状況を考慮して最終的な開催方法を決定する事とした。

※平成17年度参加申込実績  
新潟県：77名 長野県：126名  
山梨県：55名 群馬県：74名  
栃木県：69名 茨城県：48名  
埼玉県：78名 千葉県：149名  
東京都：111名 神奈川県：79名  
静岡県：18名  
合計 884名

⑤主催競技表彰対象選手について  
俱楽部対抗、アンダーハンディキャップ競技を除き、上位入賞表彰対象を従来の1~10位を1~5位に変更することが承認された。

⑥JGA個人会員入会審査の件  
11月15日現在入会申請のあった83名について、財日本ゴルフ協会に申請することが承認された。

審議された内容は以下の通り。  
①第12条：年会費その他負担金未納  
俱楽部の除名については、総会から常務理事会での決議への改正案で了承された。

②第22条：改正案の「委員会細則で定める」ことで了承された。

③委員会細則（新設）  
第2条：分科委員長、部会長は2年、委員は1年の任期が提案され、了承された。

第3条：委員候補者の推挙については、加盟俱楽部正会員と確認されたが承認された。

④第34条：現規約の中には事務総長を置くことが義務づけられているが、現状に合っていない為、「事務総長を置くことができる」とすることで了承された。

#### ⑤退会俱楽部の件

議長の指名により、事務局長より「七會ゴルフ俱楽部」（茨城県）の退会事情につき説明がなされ承認された。未納年会費については規約通り請求することが確認された。

#### ⑥JGA個人会員入会審査の件

11月15日現在入会申請のあった83名について、財日本ゴルフ協会に申請することが承認された。

#### ⑦その他

①「個人情報保護管理者」変更の件  
小宮山副理事長より、事務局長交代に伴い小林省一前局長から加藤重正局長へ変更になる旨の報告があった。

全議事終了後、吉田理事長14時40分閉会を宣した。

### 平成17年度 第3回理事会議事録

日 時 平成17年11月29日（火）正午  
場 所 ルビーホール 鳳凰の間

出席者 吉田理事長、小宮山、竹田副理事長、赤羽、橋川、岩宮、大原、篠崎、

高橋、塚原、南学、野口、広中、森川各常務理事、相澤、井上、牛込、海老原、遠藤、大鷺、黒澤、小坂、佐々木、下条、田土部、田村、富田（浩）、難波、林、平岩、平山、廣幡、福嶋、福田、前川、宮坂、村上、村山各理事、近藤、廣瀬両監事

定期、吉田理事長、議長を務め開会を宣し、議事録署名者として稻川広政常務理事、海老原寿人理事を指名した。議事に先立ち11月より就任の加藤重正新局長の紹介があった。事務局より理事58名中、委任状を含めた52名の出席となり、適法に成立した旨の報告の後、順次議題審議を行った。

#### ——討議及び決議事項——

#### ①平成17年度一般会計・特別会計決算案ならびに平成18年度一般会計・特別会計予算案に関する件

議長の指名を受け事務局より説明がなされ、今理事会で承認された事項を反映させた内容を次回開催される次回の理事会（1月20日開催）に譲ることが承認された。

主な質問、意見は以下通り。

J-sys採用俱楽部へのコンピュータ一貸与の回収について、決算上に表記されていないとの質問があった。決算上に表記する項目ではない為、改めて事業報告として報告することとなった。

#### ②各分科委員会報告、及び提案の件

##### (1)競技委員会

###### 「平成18年度関東俱楽部対抗競技開催方式の件」

競技委員長野口常務理事より第3回常務理事会（11月15日開催）にて決定された、各都県の開催方式、及び今理事会までに提出された「タイの決定方法」について報告がなされ、承認された。

内容は以下の通り。

##### ●開催方式変更都県

栃木県：A4名、B3名出場、ク

ラスに係なく上位6名のスコア合計

上位6名の決定方法：ベストスコア順（クラスに係なく）

→A、B同スコアの場合はBクラス優先

→同クラスで同スコアの場合はマッチング・スコアカード

タイの決定方法：Bクラスの個人ベストスコア順（上位6名に入った）

→Aクラスの個人ベストスコア順（上位6名に入った）

→Bクラスの個人ベストスコアのマッチング・スコアカード

山梨・埼玉・千葉県：A、B両クラス各4名出場、各ベスト3名、計6名のスコア合計

タイの決定方法：Bクラス4人目

→Aクラス4人目→Bクラスの個人ベストスコア順

→Aクラスの個人ベストスコア順

→Bクラスの個人ベストスコアのマッチング・スコアカード

●現行開催方式、及びタイの決定方法採用都県

新潟県、長野県、群馬県、茨城県、東京都、神奈川県、静岡県

##### (2)カード部会

「KGKAカード会員増強の為の主催競技参加拡大の件」

カード部会長高橋常務理事より、以下の提案がなされ、今後競技委員会においても検討していくこととなった。

##### (3)JGA個人会員入会審査の件

11月29日現在入会申請のあった8名について、財日本ゴルフ協会に申請することが承認された。

##### (4)その他

「学識理事」所属俱楽部表記の件  
事務局長より、以下の提案があつた。

現在「役員・委員名簿」等関係書類に役員・委員の所属俱楽部を表記しているが、学識理事の所属については、県選出の理事ではない為、来年度からは俱楽部名ではなく、「学識理事」としてはとの提案があり、了承された。また分科委員に関して

は、来年度委員長会議にて検討することとなった。

全議事終了後、吉田理事長13時50分閉会を宣した。

### 平成17年度 第4回理事会議事録

日 時 平成18年1月20日（金）正午  
場 所 ルビーホール 桂の間

出席者 吉田理事長、小宮山、  
竹田両副理事長、赤羽、  
稲川、岩宮、大原、斎藤、  
篠崎、高橋、塚原、野口、  
萩原、広中、渡邊各常務理事  
相澤、安藤、伊藤、井上、  
牛込、海老原、遠藤、大鷦、  
古賀、小坂、佐々木、志村、  
高橋、田土部、田村、富田、  
貫井、平山、福嶋、福田、  
堀内、前川、村上各理事  
近藤、廣瀬両監事

定刻、吉田理事長、議長を務め開会を宣した。  
事務局より理事58名中、委任状を含めた57名の出席となり、適法に成立した旨の報告の後、議事録署名者として、岩宮浩常務理事、遠藤栄松理事を指名し、順次議題審議を行った。

#### —討議及び決議事項—

①平成17年度一般会計・特別会計収支決算（案）及び平成18年度一般会計・特別会計収支予算（案）に関する件  
議長の指名を受け事務局より説明がなされ、承認された。

#### ②第58回通常総会に関する件

平成18年2月21日午前10時より、ホテルニューオータニ 麗の間にて開催し、下記事業を上程することが承認された。

#### 第1号議案

平成17年度事業報告並びに一般会計・特別会計収支決算書の承認の件

#### 第2号議案

平成18年度事業予定並びに一般会計・特別会計収支予算の承認の件

**第3号議案**  
「関東ゴルフ連盟」規約改正（案）  
の承認の件

#### 第4号議案

その他

#### 報告事項

財日本ゴルフ協会「平成17年度事業報告及び決算報告」並びに「平成18年度事業計画及び予算」に関する件

#### ③各分科委員会からの報告に関する件

(1)総務委員会「関東ゴルフ連盟」規約改正（案）

小宮山委員長（副理事長）より今回新に説明する第7条の改正について、事前に配布し検討頂いていた内容であることを報告後、詳細説明を行った。

①第7条の改正について  
議場で慎重審議の結果、文言の修正等について総務委員長一任で承認された。

②第12条の改正について、③第22条改正について、④第34条改正については原案通り承認された。

(2)競技委員会報告  
野口委員長（常務理事）より次の報告があり承認された。

①平成18年度関東ゴルフ連盟主催競技日程表について

②決勝競技表彰式、パーティー及びその出席について

「関東俱楽部対抗競技」、「関東アンダーハンディキャップ選手権」については、従来の進め方で実施する。それ以外の競技については

●賞は5位までとする。  
●表彰式は実施するが、パーティ一は実施しない。

●その出席については、「入賞者」へは強く依頼するが、「入賞者以外」には強制はしない。

③主催競技コースの選定方針について

●競技者が参加しやすいアクセスの中で、開催俱楽部の地区のバランスを考慮する。

●選定に当たっては、各都県代表

理事の協力を得て各地区的支配人会と連携を取る。

●競技を開催するには相応しい「コースのセットアップ」を準備できること。

●練習場が備わっていること。但し、ゴルフ場に無くても競技開催に支障の無い範囲での代替の施設があれば良い。

●開催俱楽部の競技委員会の協力が得られること。

④俱楽部対抗競技 競技規定

俱楽部対抗競技の良さを維持しながら参加俱楽部にとって分かり易い簡潔な手続を基本とした。競技規定の変更は「予選競技」・「決勝競技」で7項目となっており、4、「選手登録制度」、5、「出場選手の指名」、6、「出場選手の変更」の項目が從来から大きく変更した。

3月1日に予選、決勝の各開催俱楽部の担当者会議を開催し、内容を徹底する予定である。

⑤KGA競技管理者の手引き「コースのセットアップ」研修会開催について

昨日12月20日の「コースのセットアップ」研修会について報告がなされた。

⑥ハンディキャップ委員会

所用により途中退席の富田委員長（理事）に代わり大原副委員長（常務理事）より次の報告があり承認された。

①「社日本パブリックゴルフ場事業協会J-sysカード処理料見直し」について

●J-sysカード処理料を@80円（従来@100円）とする。

●JGAの手数料を@10円（従来@20円）に引き下げる。

●今後の課題として、平成19年度以降において連盟内各俱楽部のカード処理料の統一を検討する。

●コストを下げて収益性を確保する具体的な手段を検討する。

②「J-sys無償貸与計画」について

●平成17年度をもって一般会計か

ら借り入れを行った投資額の全額返済が終了した旨の報告、並びに新システム「J-sys For Web」も順調に稼動しているとの報告が併せてなされた。

④ジュニア育成委員会

大鷦委員長（理事）より本年度委員会方針、また現状と問題点につき報告があった。また報告を受けた各理事より各都県における活動状況についての報告が行われた。

④個人情報保護法施行に伴う連盟内部

の問合せに対する対応に関する件  
事務局より、関係委員会、弁護士等と検討し、標題内規を作成し、その内容についての説明がなされ原案通り承認された。

⑤「退会俱楽部」について

事務局より以下の説明がなされ承認された。

「グレンビーケマナーゴルフクラブ、東雲ゴルフクラブ」

両俱楽部は平成16年11月16日の常務理事会において、年会費の複数年滞納により退会勧告する決議がなされ、同年11月29日付で退会勧告書を出している。

以上のことから、今理事会で退会とした。

⑥JGA個人会員入会審査に関する件

事務局より以下の報告がなされ承認された。

1月20日現在、入会申請の15名について、財日本ゴルフ協会に申請する。

尚、平成17年12月末現在のJGA個人会員は2,328名であり、その内関東地区内JGA個人会員数が1,020名である。

⑦平成18年度後援競技に関する件

後援申請のある以下10競技につき後援を承認した。

「2006神奈川県アマチュアゴルフ選手権大会」

「第25回茨城県社会人アマチュアゴルフ選手権大会」

「第6回茨城県社会人女子アマチュアゴルフ選手権大会」

「第3回茨城県社会人シニアアマチュアゴルフ選手権大会」

#### ユアゴルフ選手権大会

「内閣総理大臣杯第2回関東社会人ゴルフ選手権」

「平成18年東日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技」

「平成18年東日本女子パブリックアマチュアゴルフ選手権競技」

「平成18年東日本シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技」

「平成18年東日本女子シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技」

#### ⑧その他

①平成18年度分科委員候補推薦状況について

1月13日に締め切った候補者の報告がなされた。  
「グレンビーケマナーゴルフクラブ、東雲ゴルフクラブ」

両俱楽部は平成16年11月16日の常務理事会において、年会費の複数年滞納により退会勧告する決議がなされ、同年11月29日付で退会勧告書を出している。

以上のことから、今理事会で退会とした。

②平成18年度関東俱楽部対抗競技大会会長選任の件

事務局より説明後、本件については各都県選出常務理事に推薦が一任され、3月10日（金）までに事務局に報告されることになった。

#### ③後援競技の件

次の8競技の後援が承認された。

①第2回東京都知事杯アマチュアゴルフ選手権（男・女）

（兼第61回国民体育大会東京都代表選手選考競技会）

②第2回東京都社会人ゴルフ選手権（兼都道府県社会人アマチュアゴルフ選手権東京都代表選手選考競技会）

③第60回東京都民ゴルフ大会（クラス別：男・女）

④第2回東京都議会長杯シニアゴルフ選手権（男・女）

⑤第2回東京都議会長杯グランドシニアゴルフ選手権（男）

⑥第8回山梨オープンゴルフ選手権競技

⑦第23回埼玉県女子アマチュアゴルフ選手権大会

⑧第21回埼玉県シニアゴルフ選手権大会

④財日本ゴルフ協会平成18年度分科委員会委員候補推薦の件  
本件については慣例により理事長、副理事長に一任することとなった。

⑤財日本ゴルフ協会個人会員入会の件  
2月21日現在申請のあった30名について承認した。

また、事務局より平成18年2月15日現在のJGA個人会員数は2,323人、関東地区内は1,226名と報告があった。

#### ⑥その他

(1)平成18年度分科委員選任の件  
事務局より本件は、総会で承認された「委員会細則第4条」により本理事会終了後に開催される第1回正・副理事長、委員長会議にて決定される旨の報告があった。

(2)平成18年度常務理事会・理事会開催日程の件  
事務局により、開催案内は改めて案内するとして、理事会関係及び委員長会議日程の報告があった。

●正・副理事長会議  
3月10日（金）15:00  
6月1日（木）12:00  
10月23日（月）12:00  
平成19年1月16日（火）12:00

●常務理事会  
4月13日（木）12:00  
7月3日（月）12:00  
11月14日（火）12:00

●理事会  
7月10日（月）12:00  
11月28日（火）12:00  
平成19年1月19日（金）12:00

●委員長会議  
4月13日（木）10:00  
9月5日（火）12:00  
全議事終了後、吉田理事長13時20分閉会を宣した。

#### 平成18年度 第1回競技委員会議事録

日 時 平成18年3月2日（木）  
午後2時

場 所 グランドアーケ半蔵門  
出席者 竹田副理事長、野口委員長  
加藤、田中、平山、吉野各副

委員長、浅井、浅野、安藤、岩田、魚本、岡崎、小澤、加藤、亀井、木村、熊澤、小池（浩）、近藤、坂崎、酒巻、柴田、島村、代田、菅、須崎、鈴木（昭）、鈴木（陸）、高田、高頭、高橋、竹下、竹村、藤堂、泊、豊泉、内藤、中沢、萩原、橋本、原田、廣瀬、船越、星野、本田、松井（謙）、松井（義）、松本、三浦、守山、矢野、山崎（滋）、山崎（茂）、山田、横田、渡辺各委員、小林（松）、赤羽、西野、藤生、白井各都県アマチュアゴルフ団体委員

#### —討議および決議事項—

討議に先立ち、竹田副理事長より以下のとおり挨拶がなされた。  
「関東ゴルフ連盟の競技委員会は全地区的手本となるべく、今年も野口委員長の下、委員諸氏にはご尽力いただきたい。」

①平成17～18年度活動方針の確認について

野口委員長より、挨拶の後、次記活動方針の確認がなされた。

「基本的に昨年度の活動方針を踏襲する。「運営、コースセッティング、ルーリング」の3点を基本とし、「競技委員としての質の向上」に重点を置きたい。委員諸氏には出場選手と同じ気持ちで各競技運営に臨んでもらいたい。」

運営

競技をスムーズに、正しく、迅速に、公平に行うために競技委員としてどうあるべきかを再度見直し、全班が同一の方法によって競技運営を行なうように心がけていただきたい。また昨年度同様、女子委員の活性化を図りたく、女子委員諸氏には積極的に運営に携わっていただきたい。

コースセッティング  
ホールロケーションについてはグリーン原型図にポイントを打つも

のとしていたが、最近はグリーンが大きいところが増えてきており、原型図にポイントだけでは選手にはわかりづらい場合があるため、できるだけグリーンのセンター出しを行い、数字で表記したものを選手に提供したい。しかしこれを実施するには熟練を要するため、必要であれば各班で研修等を行ない、一日も早く身につけていただきたい。

#### ルーリング

積極的にルーリングに関わること。どこで何が起きたのか、関わっているのは誰か?状況をよく確認し対処にあたりたい。選手に規則3-3（第2の球）を援用させることも有効な手段である。またどんなに簡単な裁定であっても、他の委員のためになるので、必ずランサーで報告すること。

#### 担当人数、出欠に関して

各予選の担当人員については原則6～8名で対応し、決勝競技は1日につき各班より3名ずつ、加えて正副委員長合わせて合計12名程度で運営にあたりたい。コースによって必要であれば、若干名の調整を図りたい。

やむを得ず欠席する場合は必ず当該委員長へ連絡し、変更、増員などについては当該委員長から事務局へ連絡すること。

#### その他

以下の点につき注意が喚起された。  
●選手のプレーに支障をきたすような場所に位置しないように十分注意すること。

●無用な会話を慎み、選手に途中経過を知らせたり、予想される予選通過ラインを教えるなど、無用な情報を与えることで選手に精神的負担を与えないこと。

●乗用カートに乗る場合も位置や騒音には十分注意をし、コースによってはフェアウエーの走行を禁止している場合もあるため、気をつけること。

●売店などに集まって長居しない

こと。

●俱楽部側の競技委員には運営の方法を教えながらなるべく一緒に行動すること。

#### ②平成18年度競技委員会の構成について

野口委員長より、次記の諸氏が指名委嘱された。昨年度同様、委員を地域ごとの3班に分け、それぞれの班に副委員長および副班長を置く。

##### ●1班

副委員長 平山 誠一（江戸崎）  
副班長 渡辺 章（袖ヶ浦）

##### ●2班

副委員長 田中 克幸（嵐山）  
副班長 豊泉 幸夫（狭山）

##### ●3班

副委員長 吉野 統治（戸塚）  
副班長 矢野 隆男（富士小山）

##### ●女子班

副委員長 加藤 勝栄（相模原）  
副班長 岩田 淳子（横浜）

引き続き加藤事務局長より、去る2/22の関東ゴルフ連盟通常総会後に開催された委員長会議において委員が選任されたことの説明がなされ、新人委員の紹介がなされた。

#### 新人委員

- 浅井義久（成田）
- 阿部淳子（桜ヶ丘）
- 加藤理刈（伊豆大仁）
- 小山敏男（青梅）
- 酒巻一生（東京）
- 高田安和（東名）
- 藤堂 誠（東京）
- 萩原篤博（箱根）
- 星野正治（武藏野）

都県アマチュアゴルフ団体新人委員  
●西野浩蔵（山梨県）

#### ③主催競技競技規定について

配布資料を基に、今年度前期競技の競技規定について確認をした。

#### ④ローカルルール原案について

野口委員長より、配布資料を基に説明がなされた。

「グリーンに近接する動かせない障害物（スプリングラーヘッド）からの救済について、日本においてはこのローカルルールを適用する場合が

それほどないと思われるが、原案から削除した。もしも必要な場合があれば入れていただきたい。また今年度より、俱楽部対抗、アンダーハンディキャップ、ジュニアを除く全競技において高反発クラブの規制を行なう競技の条件を追加する。参加選手には自己責任において確認の上、競技に参加するよう、注意事項を配布する。ただし競技当日の選手からの問合せに対応できるよう、委員諸氏もリストおよび検索方法などを確認していただきたい。」

#### ⑤主催競技担当委員の決定について

各班に分かれて担当委員長、副委員長、委員の決定、打ち合わせ日の決定がなされた。

#### ⑥その他

野口委員長より、コースのセットアップ、グリーンのセンター出し、ホールロケーションの決め方について詳細な説明がなされた。

#### 平成18年度 第1回コース・レート委員会議事録

日 時 平成18年3月16日（木）

午後3時30分

場 所 グランドアーケ半蔵門

なごみの間

出席者 大原委員長、

岡田、松岡各副委員長  
王月、荻島、小林、佐久間、杉山、寺村、中川、中野、中部、森、矢嶋、渡辺各委員

#### —討議および決議事項—

会議に先立ち、大原委員長より挨拶がなされた後、下記議題を順次上程議事に入った。

「今年は相当数の査定申請がすでに寄せられており、かなりのハードスケジュールが予想されている。今年は査定委員の補充はせず、昨年から引き続き同じメンバーによる構成となっているが、委員諸氏にはより一層のご協力をお願いしたい。」

#### ①査定数値決定について

事務局より、配布資料を基に説明がなされ、全委員確認をした。

査定俱楽部は以下のとおり。

改造査定  
霞ヶ関カンツリー俱楽部・西コース  
机上査定  
取手国際ゴルフクラブ・西コース  
※後日、現地確認後に改めて決定することとした。

女子机上査定  
フォレストカントリークラブ三井の森  
松ヶ峯カントリー俱楽部  
②査定スケジュールについて  
配布資料に基づき、順次日程を決定した。

新規査定  

- 太平洋クラブ&アソシエイツ  
江南コース 7月25日（火）
- 太平洋アソシエイツ  
シャーウッドコース 7月11日（火）
- 太平洋クラブ 成田コース  
7月20日（木）
- ザ・カントリークラブ  
グレンモア 6月12日（月）
- 平成俱楽部鉢形城コース  
7月31日（月）
- 武藏丘ゴルフコース 7月4日（火）
- 筑波東急ゴルフクラブ  
6月13日（火）
- 季美の森ゴルフ俱楽部  
5月31日（水）

15年再査定  

- 太平洋クラブ 軽井沢リゾート  
6月22日（木）
- 太平洋クラブ&アソシエイツ  
高崎コース 6月21日（水）
- 太平洋クラブ&アソシエイツ  
益子コース 9月20日（水）
- 太平洋クラブ 市原コース  
6月27日（火）
- 太平洋クラブ 相模コース  
7月6日（木）
- 太平洋クラブ 御殿場コース  
7月7日（金）
- 大利根カントリークラブ  
6月21日（木）
- 富士カントリー笠間俱楽部  
5月29日（月）
- イーストヒルゴルフクラブ  
7月14日（金）

- 相武カントリー倶楽部  
8月24日（木）

- 船橋カントリー倶楽部  
次回委員会にて決定

**改造査定**

中条ゴルフ倶楽部 4月6日（木）

- ③その他**  
(1)合同コース・レート研修会について

毎年開催されているJGA合同コース・レート査定研修会は、今年度関東が担当地区となっており、霞ヶ関カントリー倶楽部において開催される予定であるが、JGAよりそれとは別に近隣地区同士での査定研修会を開催してほしい旨の依頼が来た。査定コースとしては従来のコース・レートがあるコースではなく、新規査定をするコースでの開催をお願いしたいとのことで、査定時期、査定コースについてはスケジュールを調整の上、後日決定する。

- (2)女子のコース・レートについて  
今年も引き続きできるだけ多くの査定に出席していただき、査定報告を出してもらう。現在、女子レートの数値は机上査定による暫定的な数値となっているが、女子委員が実際に査定した数値との差がどれ位生じてくるのかを今年1年間のデータを基に精査し、KGAコース・レート委員会の方針として、JGAへ提出したい。

**平成18年度**

**第1回 ジュニア育成委員会議事録**

日 時 平成18年3月3日（金）  
午後2時

場 所 グランドアーケ半蔵門 華の間  
出席者 大鷲委員長

笠川、川島、嶋田、中島、  
藤園、矢崎各副委員長

麻布、荒井、大野、神谷、  
唐木、河本、北本、楠、  
佐藤（彩）、佐藤（伊）、  
佐藤（稔）、田村、中村、  
林、廣瀬（浩）、廣瀬（康）、

藤巻、三木、元木、安間、  
山岡、山崎、米澤各委員  
瀧谷、細田、長岡、吉澤、  
飯塚各都県アマチュア団体委員

**—討議及び決議事項—**

討議に先立ち、加藤事務局長より開会を宣し、順次議題審議を行った。

**①平成18年度活動方針**

大鷲委員長より次方針が示された。  
関東ゴルフ連盟ジュニア育成委員会の役割は、中・上級者を中心に、ルールやマナーを兼ね備えたゴルファーを育成することである。毎年卒業していく子供たちと新しく入会てくる子供たちが入れ替わり、まさにジュニア育成活動に終わりはない。親権者、学校の先生も含めた我々大人たちがゴルフの持つ「教育的価値」を踏まえながら、ゴルフの面白さや素晴らしいところを伝えていかなければならぬ。子供たちと接する機会が限られている中、我々の永年の経験は子供たちにとって必ずや有効な助言になることと確信している。

**②副委員長、委員選任の件**

大鷲委員長より、2月21日の総会後に開催された委員長会議において副委員長と委員が選任されたこと、また委員の任期について規約の改正がなされたことの報告があり、全委員これを確認した。

その後各副委員長より挨拶がなされ、本年度の活動に対するより一層の理解と協力が呼びかけられた。

また、これまで副委員長として活動していただいた荻原知昭氏は体調不良により、本年度は委員として引き続きご協力いただくことが報告された。

**副委員長**

笠川喜久男、川島 英雄、  
嶋田 憲人、中島 広行、  
藤園 賢雄、矢崎智都子

**新人委員**

丘 正法、楠 達子、  
佐藤 彩香、照山 肇、  
三木 健義

**都県新人委員**

細田 鈍也、中山 省三、  
飯塚 裕一、丹野 富壽

**③班編成について**

居住地または所属倶楽部の地域で3班に分け、各班の担当都県を確認した。

また、各班担当副委員長は次記のとおり。

1班 笠川、藤園副委員長

栃木県、茨城県、千葉県

2班 川島、矢崎副委員長

新潟県、長野県、群馬県、

埼玉県、東京都

3班 嶋田、中島副委員長

山梨県、神奈川県、静岡県

**④春季ジュニア・ゴルフスクール、ジュニアゴルフ大会について**

大鷲委員長より春の活動内容、事務局より春のスケジュール、申し込み状況等についての説明がなされた。開催会場等は下記のとおり。

**ジュニアスクール**

●鷺之台カントリー倶楽部

初・中・上級者

●セントラルゴルフクラブ

中・上級者

●我孫子ゴルフ倶楽部 中・上級者

●ハイランドセンター

初級・初心者

●茨城ゴルフ倶楽部 中・上級者

●千葉カントリークラブ・梅郷

コース 初・中・上級者（親子）

●青梅ゴルフ倶楽部 中・上級者

ジュニアゴルフ大会（小学生のみ）

●若洲ゴルフリンクス 中・上級者

各会場共、受付開始と同時に申し込みが殺到し、最終的に1,128名（組）

という定員を大きく超える参加申込があった。特にジュニアゴルフ大会は申込数220名あり、僅か一週間で

定員の120名に達するという盛況ぶりであった。

また、KGAジュニア育成委員会と

してはJGAの方針に伴い、「中上級者の育成」を基本としているが、小

学生会員の増加に伴い初級者および

初心者を対象にしたスクールも開催する。

**⑤夏季ジュニア・ゴルフスクール、ジュニアゴルフ大会について**

大鷲委員長より夏の活動内容、事務局より夏のスケジュールについての説明がなされた。開催会場はジュニアスクール13会場、ジュニアゴルフ大会1会場を予定している。

クラブの本数制限により、体調を崩す者も減少し効果が観ておらず、今年も健康面に十分留意して活動することを確認した。また事故にはならなかったものの、昨年は一部会場でクラブを振り回した小学校低学年のジュニアがいたため、春、夏を通じ、危険防止の徹底を確認した。

**⑥関東ジュニアゴルフ選手権予選、決勝競技について**

大鷲委員長より選手権競技の運営、事務局よりスケジュールその他変更点等についての説明がなされた。

**予選競技**

●日高カントリークラブ

男子15歳～17歳の部 7/24（月）

●茨城ゴルフ倶楽部

男子15歳～17歳の部 7/24（月）

●程ヶ谷カントリー倶楽部

男子15歳～17歳の部 7/24（月）

●紫カントリークラブ・すみれコース

男子15歳～17歳の部 7/18（火）

●鎌ヶ谷カントリークラブ

男子12歳～14歳の部 7/18（火）

●藤ヶ谷カントリークラブ

女子15歳～17歳の部 7/24（月）

女子12歳～14歳の部 7/24（月）

**決勝競技**

●千葉カントリークラブ

梅郷コース

過密日程、指定練習日の問題を解消

するため、予選競技の開催日を一部変更し、2日間の設定にした。また、男子12歳～14歳の部は参加人数の増加に伴い、從来開催していた藤ヶ谷

カントリークラブ（18ホール）と女子の部の鎌ヶ谷カントリークラブ（27ホール）を入れ替えることとした。

毎年夏のジュニア活動は他競技とも重複するため、委員にとっても相当な過密スケジュールになっており、

全員に対しへスケジュール調整の上、できるだけ多くの会場への出席要請がなされた。

**⑦その他**

**(1)JGAジュニア会員数について**

事務局よりJGAジュニア会員数（2006.2.28現在）、申し込み状況について詳細な説明がなされた。特に最近の小学生会員の増加は著しく、全国の会員数8,834名中、関東ゴルフ連盟1都10県の会員数約3,500名弱の内の約1/3（1,146名）を占めていた。

会員数が一時の8,000名台までに戻りつつある中、まだゴルフを知らない彼らにどうやって指導を行うかが、ジュニア育成委員会にとって新しいテーマと考える。

**(2)高ゴ連との関係について**

大鷲委員長より、高ゴ連との今後の協力関係について、現段階の経過報告がなされた。

**(3)その他**

最後に、今年度の活動、スクールの募集、子供たちへの指導方法およびコミュニケーション等について、活発な質疑応答がなされた。

**④平成18年度広報予算**

使途別の予算が報告され、会報以外にホームページのリニューアルも目標としていることが説明された。エチケットポスターは従来の関係先の意向を確認し自主制作等を健闘する。

**⑤上半期競技取扱担当**

関東俱楽部対抗決勝までの取扱担当者を決定した。取扱のターゲットはエントリー締切り点及び競技当日に競技委員会と充分打合せ決定する。

**⑥本年度広報委員会日程**

年間4回とし、6月16日（金）、9月15日（金）、12月8日（金）、に2回目以降を開催する。

**⑦その他**

①今後の75年史の準備のためにも取材写真等の整理をする必要があり、写真取扱委員によりDVDに収録を始めた。

活字の記録をどのようにして残していくかはKGA全体の問題として取り上げてもらう。

②KGA掲載競技成績記録は速報性もなく、FAXサービス、HPなどと重複するので関係先の意向も確認し見直す。

以上審議と報告を終了し午後4時30分閉会した。

**①平成18年度委員会構成**

本年度広報委員会委員に就任した全員の紹介があった。

## 月例競技成績表

〔平成17年度12月月例〕 平成17年12月12日(月) 鷹之台カントリー倶楽部

男子	ランク	スコア	氏名	倶楽部
1	1	70	竹石 要佑	筑 波
2	2	70	豊島 豊	東 千 葉
3	3	72	中川 雅義	沼 津
4	4	73	阪田 哲男	袖 ケ 浦
4	5	73	水上 晃男	袖 ケ 浦

※優勝はプレーOFFによる

女子	ランク	スコア	氏名	倶楽部
1	1	74	綾田 紗子	大宮国際
2	2	75	森 桜子	扶桑
2	3	77	植田希美子	大宮国際

※優勝はプレーOFFによる

〔平成18年度1月月例〕 平成18年1月18日(水) 袖ヶ浦カントリークラブ・新袖コース

男子	ランク	スコア	氏名	倶楽部
1	1	71	竹原 洋行	東 千 葉
2	2	71	前田 男	岡 部 チ サン
3	3	72	庄司 由	桑 野
3	4	72	園田 岷輔	東 千 葉
3	5	72	竹石 要佑	筑 波

※優勝はプレーOFFによる

女子	ランク	スコア	氏名	倶楽部
1	1	77	森 桜子	扶桑
2	2	77	間根奈穂美	セントラル
2	3	77	綾田 紗子	大宮国際

※優勝はプレーOFFによる

〔平成18年度2月月例〕 平成18年2月13日(月) 戸塚カントリー倶楽部・西コース

男子	ランク	スコア	氏名	倶楽部
1	1	72	藤田 大	鹿 月・佐 野
2	2	73	谷口 英樹	セベ・パレステロス
2	3	73	大山 和則	スプリングフィルズ
2	4	73	阪田 哲男	袖 ケ 浦
5	5	75	市田 雅亮	袖 ケ 浦
5	6	75	上島 英信	ニ ツ ノ 一
5	7	75	吹野 紳一	都 賀
5	8	75	太田 再勇	大 相 模
5	9	75	館 英樹	富 士 笠 間
5	10	75	園田 岷輔	東 千 葉
5	11	75	水上 龍樹	南 富 士

※優勝はプレーOFFによる

女子	ランク	スコア	氏名	倶楽部
1	1	76	南雲 真理	岡 部 チ サン
2	2	77	加藤 仁美	高 根
3	3	78	佐藤 彩香	小田原・松 田
3	4	78	横山垂弥子	浦 和

※優勝はプレーOFFによる

〔平成18年度3月月例〕 平成18年3月14日(火) ゴルフ倶楽部成田ハイツリー

男子	ランク	スコア	氏名	倶楽部
1	1	72	豊島 豊	東 千 葉
2	2	72	角田 浩導	東 千 葉
3	3	73	秋元 一男	相 模 原
4	4	74	宮 卒夫	賀 志 野
4	5	74	藤田 大	鹿 月・佐 野

※優勝はプレーOFFによる

女子	ランク	スコア	氏名	倶楽部
1	1	78	木戸 爰	ロイヤルスター
2	2	78	西村 友希	太平洋・ヒルクレスト
2	3	78	篠塚 美幸	富 里
2	4	78	矢鶴 里菜	霞 ケ 間

※優勝はプレーOFFによる

〔平成18年度4月月例〕 平成18年4月11日(火) 箱根カントリー倶楽部

男子	ランク	スコア	氏名	倶楽部
1	1	71	小原 淳	セントラル
2	2	72	大田和桂介	ケ ン ト ラ ス
2	3	72	前栗戴俊太	セントラル
4	4	73	石井 保行	清 川
4	5	73	木下 幸一	霞 ケ 間
4	6	73	青木 龍一	東 名

女子	ランク	スコア	氏名	倶楽部
1	1	73	森 桜子	扶桑
2	2	78	田中 真弓	成 田 東
3	3	79	綾田 紗子	大宮国際

※優勝はプレーOFFによる

## お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は次記のとおりです。訂正加筆をお願い申し上げます。(4月17日現在)

### 倶楽部名変更

■(新) フォレストカントリー倶楽部  
(旧) フォレストゴルフクラブ  
新会社名 新潟フォレストカントリー  
俱楽部(株)

■(新) 柳形ゴルフ倶楽部  
(旧) ミサワカーディナルゴルフクラブ  
新会社名 (旧)MVゴルフ新潟中条

■(新) コールド川崎カントリークラブ  
(旧) 伊東ゴルフ倶楽部  
新会社名 (新)サクセスリゾート

### 理事長

■フォレストカントリー倶楽部  
(新) 若松 利雄

(旧) 竹内 政二 (副理事長)

■伊勢原カントリークラブ  
(新) 沼澤 實 (旧) 木田 篤

■(新) 井上 修 (旧) 加藤 梅一

■大相模カントリークラブ  
(新) 高橋 正孝 (旧) 塚田 裕三

■白帆カントリークラブ  
(新) 鬼沢 保平

俱楽部代表者  
東京事務所  
■柳形ゴルフカントリークラブ  
(新) 菅谷 邦正 (旧) 斎藤 文謙

■伊勢原カントリークラブ  
(新) 沼澤 實 (旧) 木田 篤

■箱根カントリー倶楽部  
(新) 竹下 修一 (旧) 高木 邦雄

■相模カントリー倶楽部  
(新) 永井 紀芳 (旧) 塚田 裕三

■越谷カントリークラブ  
(新) 白井 博一 (正) 小宮山義孝、松尾 吉夫

■南足柄ゴルフ倶楽部  
(新) 赤澤 正日 (旧) 西村 直吉

■東京五日市カントリー倶楽部  
(新) 小林 正義 (旧) 小西 正彦

■鳥山城カントリークラブ  
(新) 鹿児島 政男 (旧) 増幡 蘭

■美香カントリー倶楽部  
(新) 石川 康雄 (旧) 佐々木陽一郎

■ザ・カントリークラブ グレンモア  
(新) 德田 孝夫 (旧) 山下 勝彌

■千葉カントリークラブ  
(新) 德田 孝夫 (旧) 山下 勝彌

■平塚富士見カントリークラブ  
(新) リックウッドコーポレーション

■矢板カントリークラブ  
(新) ユニマット青山ビル8F

■J-sys新規採用倶楽部  
(新) アザレアカントリークラブ J-sys

■那須ハイランドゴルフクラブ  
(新) ハーモニーハイランドゴルフクラブ J-sys

○ → J-sys

■鶴川カントリークラブ J-sys

■ザ・カントリークラブ グレンモア

■徳田 孝夫 (旧) 山下 勝彌

■吉田 友明 編集/広報委員会

平成18年6月1日発行 KGA ニュース No.91

発行所/関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル3F TEL.(03) 5275-0391 ホームページ <http://www.kga.gr.jp>

発行人/吉田 友明 編集/広報委員会